

- 問1 日本では1880年代から1890年代にかけて産業革命が進展したが、それに先立ち18世紀後半にイギリスで産業革命が始まった際、動力源の劇的な変化をもたらした発明品は何か。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 蒸気機関 2. ガソリンエンジン 3. 原子力発電 4. 電気モーター
- 問2 江戸時代の対外関係において、長崎を窓口として交流や貿易を行っていた相手の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 朝鮮・アイヌ 2. 琉球・イギリス 3. スペイン・ポルトガル 4. オランダ・清 (中国)
- 問3 江戸幕府は、全国の大名を徳川氏との親疎関係に基づいて3つの区分に分類しました。このうち、関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従っていた家臣で、幕府の政治において老中などの重要な役職に就くことができた区分の名称として、正しいものを選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
1. 譜代大名 2. 外様大名 3. 旗本 4. 親藩
- 問4 持続可能な社会の実現を目指す上で、「環境保全」「防災・安全」「資源・エネルギー」の各視点は互いに深く関連しています。このうち、資源やエネルギーの有効活用において、廃棄物を単なるゴミとして捨ててのではなく、再び資源として生産工程に取り入れることで環境負荷を減らそうとする社会を何と呼びますか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 高度経済成長社会 2. 情報化社会 3. 格差社会 4. 循環型社会
- 問5 江戸時代の徳川吉宗が行った享保の改革では、質素倹約による財政再建や、目安箱の設置を通じた民意の反映など、多角的な政策が展開されました。この改革の一環として、裁判を迅速かつ公正に行うために、判例に基づいた判決の基準を定めた法典として最も適切な名称を答えてください。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 武家諸法度 2. 御成敗式目 3. 生類憐みの令 4. 公事方御定書
- 問6 江戸幕府は、キリスト教の禁教を徹底し対外関係を統制した体制下において、長崎の出島などを通じた貿易を継続しました。このとき、幕府がオランダをヨーロッパ唯一の取引相手として認めた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 鎖国の解除を求めて、最初に強力な軍隊を率いて長崎に来航したため 2. 日本に初めて鉄砲を伝えた国であり、幕府から特別な信頼を得ていたため 3. 東南アジア各地に日本町を建設し、幕府から朱印状を与えられていたため 4. キリスト教の布教を行わず、貿易のみを目的とすることを約束したため
- 問7 江戸時代に大阪が「天下の台所」と呼ばれるようになった経済的な背景として、各藩が設置した「蔵屋敷」の役割を踏まえて説明したものを選んでください。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 領地で集めた年貢米や特産物を集積し、それらを販売して貨幣を得る役割 2. キリスト教の禁止を徹底するため、貿易品を厳格に管理する役割 3. 幕府が直接管理する土地として、全国の鉱山から採掘された金銀を铸造する役割 4. 参勤交代の際の宿泊施設として利用し、宿場町の景気を支える役割
- 問8 16世紀から17世紀にかけての日本の経済状況と、それに関連して発展した文化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 鎌倉時代に確立された経済制度を維持したことで、農民の生活が豊かになり、農村部で人形浄瑠璃などの町人文化が最盛期を迎えた。 2. 鎖国によって銀の輸出が禁止されたため、国内に滞留した銀を使って町人たちが寺院を金銀で飾る東山文化を完成させた。 3. 銀の産出が止まったため海外との貿易が完全に途絶え、その結果として上方を中心に武士のみが楽しむ独自の文化が生まれた。 4. 石見銀山などで産出された大量の銀が南蛮貿易の支払い手段となり、経済の活性化やのちの町人文化の発展を支える背景となった。
- 問9 1792年にロシア使節のラクスマンが来航した際、江戸幕府が取った対応として正しいものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 日米和親条約を参考にして、即座に根室と箱館の2港を開港した。 2. 天皇の勅許を得て、ロシアとの間に日露修好通商条約を締結した。 3. 長崎への入港許可証である信牌を与え、通商交渉の窓口を限定して対応した。 4. 異国船打払令に基づき、事前の警告なしに砲撃を加えて退去させた。
- 問10 江戸幕府の八代将軍である徳川吉宗が行った「享保の改革」では、司法制度の整備も進められました。裁判の公平さを保ち、手続きを迅速に進めるために、過去の判例や刑罰の基準をまとめた法典を何といいますか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 禁中並公家諸法度 2. 公事方御定書 3. 御成敗式目 4. 武家諸法度
- 問11 江戸時代後期、徳川家斉が將軍の時代に老中となり、厳しい儉約令や、聖堂学問所での朱子学以外の講義を禁じる「寛政異学の禁」などの政策を行った人物は誰ですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 水野忠邦 2. 松平定信 3. 田沼意次 4. 徳川吉宗
- 問12 江戸時代、町人や百姓の子弟が通った教育施設である寺子屋では、将来の生活や仕事に役立てるためにどのような学習内容が中心となっていましたか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 儒学の經典の暗唱や、武士としての武術の鍛錬 2. 読み・書き・そろばんといった、実生活に直結する知識 3. オランダ語の習得や、西洋から伝わった科学技術の習熟 4. 和歌の詠法や、朝廷で行われる伝統的な儀礼の習得
- 問13 江戸時代の大阪では、各地から集まった物資を扱う米市などが開かれ、経済が大きく発展しました。この当時、諸藩が大阪に蔵屋敷を設置し、年貢米や特産物を運び込んでいた目的として最も適切なものはどれですか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
1. 地租改正に伴う納税を円滑に進めるため、現金を政府へ直接送金するため 2. 特産物を市場で販売することで、藩の財政に必要な貨幣を獲得するため 3. 将来のシベリア出兵に備えて、軍用米を都市部に蓄え、価格を操作するため 4. 各地で定期市を開催し、周辺の農民が日常生活用品を安く買えるようにするため
- 問14 江戸幕府の三大改革の一つである「天保の改革」について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 田沼意次が主導し、長崎貿易の拡大や印旛沼の干拓、株仲間の積極的な公認によって、商業資本を利用した政治を進めた。 2. 水野忠邦が主導し、物価の下落を狙って株仲間を解散させたほか、人返しの法などの厳格な統制政策を行った。 3. 徳川吉宗が主導し、上米の制や足高の制を導入して、幕府の権威回復と財政再建に成功した。 4. 松平定信が主導し、農民に対して質素倹約を強いるとともに、棄捐令を出して旗本・御家人の救済を図った。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 蒸気機関	イギリスの産業革命では、石炭を燃料とする蒸気機関が動力源として広く普及しました。これにより、工場が川沿いなどの立地条件に縛られることなく設置できるようになり、さらに蒸気機関車や蒸気船などの交通機関の発展にもつながりました。
問2	答え 4 オランダ・清（中国）	鎖国下の日本には「四つの口」と呼ばれる窓口がありました。長崎ではオランダと清（中国）と貿易を行い、対馬藩は朝鮮、薩摩藩は琉球、松前藩はアイヌの人々と交流・交易を行っていました。長崎では、オランダ人のための出島とともに、清の人々のための唐人屋敷も設置されました。
問3	答え 1 譜代大名	徳川氏が天下を治める以前（関ヶ原の戦いよりも前）から仕えていた家臣は「譜代」と呼ばれます。譜代大名は、江戸や京都・大坂などの要所、およびその周辺の領地に配置され、幕府の政治を直接担う老中や若年寄などの要職を独占しました。一方、徳川氏の親戚は「親藩」と呼ばれます。
問4	答え 4 循環型社会	環境保全や資源の安定確保を目的として、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、資源を効率的に循環させる社会を「循環型社会」と呼びます。現代では再生可能エネルギーの導入や防災対策と並び、この循環型社会の構築が、将来にわたって安心・安全に暮らせる社会を作るための不可欠な要素として位置づけられています。
問5	答え 4 公事方御定書	徳川吉宗は、それまで各奉行の裁量に委ねられていた裁判の基準を統一するため、過去の判決例を整理して「公事方御定書」を編纂させました。これにより、同様の罪に対して一貫性のある判決が下されるようになり、司法の信頼性と効率性が高まりました。武家諸法度は大名の統制を目的としたものであり、生類憐みの令は5代將軍綱吉によるもの、御成敗式目は鎌倉時代の武士の慣習をまとめたものです。
問6	答え 4 キリスト教の布教を行わず、貿易のみを目的とすることを約束したため	16世紀の南蛮貿易では、ポルトガルやスペインがキリスト教の布教と貿易を密接に結びつけていました。これに対し、江戸幕府は幕藩体制の安定を揺るがす恐れがあるキリスト教を禁止しようと考えました。オランダは、布教活動を行わずに貿易に専念することを幕府に示したため、1641年に平戸から長崎の出島に商館を移され、ヨーロッパで唯一の貿易相手として認められることになりました。
問7	答え 1 領地で集めた年貢米や特産物を集積し、それらを販売して貨幣を得る役割	当時の大名たちは、武士の給与や生活、さらには参勤交代の費用を捻出するために、領地で収穫した年貢米や現地の特産物を現金化する必要がありました。交通の便が良く、有力な商人が集まっていた大阪の蔵屋敷は、これらの物資を全国規模の市場で流通させるための重要な窓口となっていました。
問8	答え 4 石見銀山などで産出された大量の銀が南蛮貿易の支払い手段となり、経済の活性化やのちの町人文化の発展を支える背景となった。	16世紀後半、灰吹き法などの技術導入により石見銀山（島根県）などで銀の生産が急増し、日本は世界有数の銀産出国となりました。この銀は、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易において、中国産の生糸などの輸入品を購入するための重要な決済手段となりました。こうした活発な経済活動を通じて、江戸時代には上方（京都・大坂）を中心とする都市の「町人」たちが経済力を蓄え、自分たちの生活や価値観を反映した町人文化を花開かせることにつながりました。
問9	答え 3 長崎への入港許可証である信牌を与え、通商交渉の窓口を限定して対応した。	ラクスマンが根室に来航した当時、老中松平定信を中心とする幕府は、外国との交渉は長崎に限るという方針を持っていました。そのため、根室での通商要求を拒否する一方で、漂流民を送り届けたという事情を考慮し、後日長崎へ入港するための証明書（信牌）を渡して解決を図りました。これは、北方からの接触に対する初期の外交対応の一例です。
問10	答え 2 公事方御定書	徳川吉宗は、裁判が担当する奉行によって不公平にならないよう、判決の基準を定める必要があると考えました。この法典の制定により、裁判のスピードが上がるとともに、全国で統一的な司法判断が行われるようになりました。
問11	答え 2 松平定信	徳川吉宗の享保の改革を手本として「寛政の改革」を推進した人物を問う問題です。松平定信は、田沼意次時代の賄賂政治や華美な風潮を正すため、厳しい統制と倹約を強いました。選択肢にある徳川吉宗、水野忠邦はそれぞれ享保の改革、天保の改革を主導した人物です。
問12	答え 2 読み・書き・そろばんといった、実生活に直結する知識	江戸時代の寺子屋は、庶民の教育機関として全国に普及しました。そこでは、日常生活や商売、農業の経営に欠かせない「読み・書き・そろばん」が中心に教えられ、実生活に直結する教育が行われていました。これは当時の産業の発展に伴い、文字が読め、計算ができる人材が社会的に求められていたことが背景にあります。
問13	答え 2 特産物を市場で販売することで、藩の財政に必要な貨幣を獲得するため	江戸時代の中期以降、貨幣経済が浸透するにつれ、各藩は領内から徴収した年貢米や地域固有の特産物を大阪などの大都市へ運び、蔵屋敷を通じて商人に売り払いました。この売却益によって、藩の運営に必要な貨幣を得ることが主な目的でした。定期市は主に中世から続く地方の小規模な取引形態であり、地租改正やシベリア出兵は明治時代以降の出来事であるため、江戸時代の蔵屋敷の説明としては不適切です。
問14	答え 2 水野忠邦が主導し、物価の下落を狙って株仲間を解散させたほか、人返しの法などの厳格な統制政策を行った。	天保の改革は、老中の水野忠邦によって進められました。当時の社会不安に対し、物価高騰の原因と考えた株仲間の解散や、都市部の人口を抑制する人返しの法、さらに江戸・大坂周辺の領地を幕府直轄地にしようとした上知令（知行割替）など、幕府権力を強めるための厳しい政策がとられました。しかし、これらの政策は社会の反発を招き、短期間で失敗に終わりました。